

文書番号 (工事番号)	
----------------	--

既済部分検査請求書 (第 回)

年 月 日

(発注者宛) 殿

住所

受注者

氏名 (法人の場合は
名称及び代表者の氏名)

下記工事の既済部分検査 (第 回) を請求します。

文書番号 (契約番号)			
工事件名			
工事場所			
契約金額	¥	既受領額	¥
		(うち前払金額)	()
契約年月日	年 月 日	工期	
既済部分 の支払を 受ける根拠	契約条項第 条		

監理業務受託者		担当者名		
---------	--	------	--	--

既済部分出来高工種別内訳書

今回既 済部分 出来高金額		出来高歩合	%
		出来高年月日	年 月 日現在

種別	工種内訳	形状寸法	数量	単位	金額 円	出来高 %	出来高 金額 円	摘要

注1. 受注者は、出来高金額欄を空欄のまま作成する。
 注2. 出来高 (%) 欄は、1. 0%未満切捨とする。

別記様式甲第 1 2 5 号

種 別 工 種 内 訳	形 状 寸 法	数 量	単 位	金 額 円	出 来 高 %	出 来 高 額		摘 要
						金	円	

注 1. 受注者は、出来高金額欄を空欄のまま作成する。
注 2. 出来高 (%) 欄は、1. 0 %未満切捨とする。
注 3. 別記様式甲第 1 2 4 号の続きに使用する。

既済部分出来高工種別内訳書

回数	今回既済部分 出来高年月日	前回までの 出来高 %	今回までの 出来高 %	今回までの出来高 金額

種 別 工 種 内 訳	形 状 寸 法	数 量	単 位	金 額 円	前 回 ま だ の 出 来 高 %	今 回 ま だ の 出 来 高 %	今 回 まで の 出 来 金 額	今 回 まで の 出 来 高 額 円	摘 要

注 1. 受注者は、出来高金額欄を空欄のまま作成する。
 注 2. 出来高 (%) 欄は、1. 0 %未満切捨とする。
 注 3. 2 回目以降の既済部分検査の場合に使用する。

別記様式甲第134号

段階別部分払出来高率表

◎今回検査対象 ○前回検査対象

工事段階区分													年	月	日現在出来高	
1		7		13		19							25			
2		8		14		20							26			
3		9		15		21							27			
4		10		16		22							28			
5		11		17		23							29			
6		12		18		24							30			
段階支払率表																
工事種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
全体構成率																
既済部分構成率																
認定率																
代価認定率																
工事種目	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	②工事構成比率%	第 回 認定率
全体構成率																
既済部分構成率																
認定率																
①代価認定率																
注：1) 特殊な工程段階の認定率は協議のうえ決定するものとする。																
2) 設計変更等による補正率A = ①代価認定率 × ②工事構成比率 (100/変更後工種別構成率 (100 ± α)) = <input type="text"/> × <input type="text"/> = <input type="text"/>																

注 建築工事のみに適用する。